

授業案① ルールは必要？体育館利用におけるルールを考える

1 対象

小学生

2 獲得目標

- ・ルールとしての法の必要性を理解する。
- ・法は、権利を規制するものだけではなく、国家による恣意的な制約を抑制し、活動を促進するものであることを理解する。
- ・ルールは内容が公正であり、多数人の利益が考慮されるべきであることを理解する。
- ・ルールは明確でなければならないことを理解する。
- ・ルールは、議論をすることでより良いものとしていくことができることを理解する。

3 本授業案の意義

本授業は弁護士からの講義のあと班で話し合い、合意形成をした上で、一定の結論を導くという進め方であり、課題解決能力を養うこともできる構成となっている。

本授業案は、体育館の限られたスペースの調整を題材に、その取り決め作成のための協議を児童に行わせることを通じて、自分たち自身の力で、他者の意見を聞きながら紛争解決を行うことの意義と心構えを児童に実感として理解させようとするものである。与えられた題材の中で、自分が考える解決案の利点を正確に把握し、その上で、どのような言葉づかいで自分の案を相手に伝えるか、どのような態度で相手の解決案を聞くか、各人の意見を踏まえて、結論案を作成するためにどのように意見調整を行うべきかを、児童なりに考えさせるよう工夫されており、読む、話す、聞くといった基本的な言語能力を身に付けることも期待される。

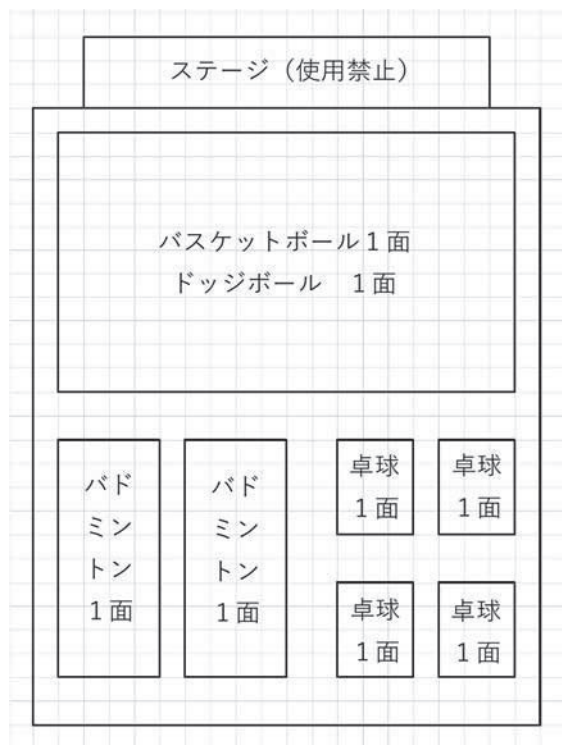
4 授業の流れ

段階 時間	○教師の主な発問・指示 ◎学習内容	⇒生徒の反応 指導のポイント
導入 5分	○身近にあるルールを挙げてもらう。 ○そのルールは誰がどうやって決めたのかを質問しながら進める。	⇒法律、条例、校則、道路交通法、 家の中でのルールなど ⇒議員や校長先生、両親など

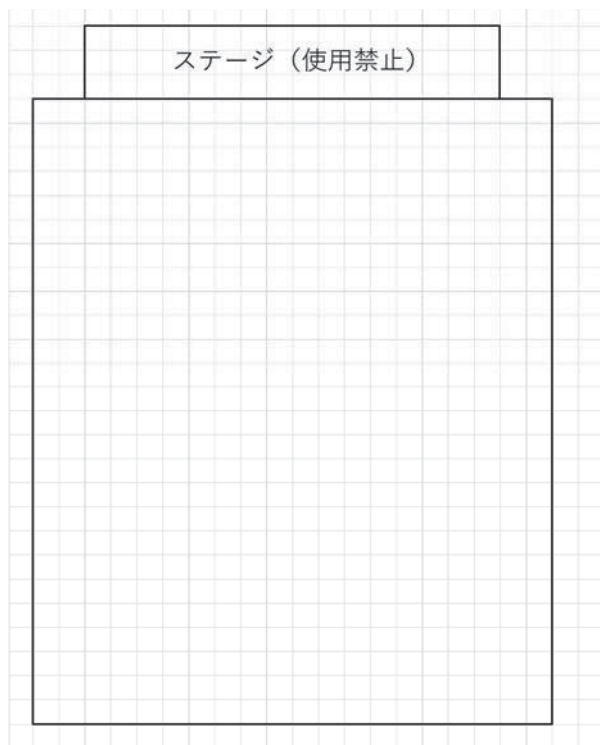
展開1 10分	◎ルール必要性を考える ○ルールは必要か。ルールは制約であり、ない方が 良いのではないか。 ○ドラえもん例で考える。 のび太、スネ夫、ジャイアンが無人島で遭難した という事例において、ジャイアンがのび太に対し、 「のび太！食料集めてこい！」という命令をした。こ の命令に従わなければならないか。 では、のび太が食料を集める係、ジャイアンが料 理する係となった場合はどうか。のび太は食料を集 める係であるため、ジャイアンは正しい命令をして いることになる。 ◎ルールがあれば紛争を予防し、紛争が起きてもど ちらが正しいかが判断できるという紛争解決機能 を説明する。 「社会には、自分一人だけではなく、多くの色んな 人がいます。自分の意見ばかり通そうとする人をそ のままにすると、最後は声の大きい人や力の強い人 の意見ばかり通ってしまうことになり、みんなが安 全に暮らしていくことができません。そのため、あ らかじめみんなで話し合って、より良いルールを定 め、問題が起きないようにする必要があります。 みんなが好き勝手にしていたら、争いがあっちこ っちで起きてしまう。みんなの意見が異なるときに、 その意見の食い違いを解決しなければ、争いがその ままになってしまいます。そういう時にルールがあ ることで、その争いについてどちらが合っているか 間違っているかの判断をすることができます。」 ◎ルールの枠内であれば自由に行動することを保障 する「自由保障機能」を説明する。 ◎ルールが決まれば、ルールが適用される人たちは 拘束され、社会が統制される「社会統制機能」を説 明し、外部の権力を持った人によって変えることは できないことを説明する。 ◎自分たちのルールは自分たちで決めるべきこと	ルールには制約が伴うことを 意識付け、制約があるのであれ ば、ルールはいらぬのではな いかという考えを伝える。 全体に向けて児童の意見を聞 いてみる。 ⇒従う、従わない、両論あり得 る。 ルールが設定された場合にお けるジャイアン命令の正当性 を考える。 ルールがあることによりジャ イアンとのび太の紛争が予防で き、紛争が起きたとしても一定 の方針の下で解決できることを 伝える。 食べ物を集める係であるのび 太は、ジャイアン嫌いな食べ 物ばかりを集めてきてもルール には反しないことを伝える。 無人島の主が出てきたとして も、ジャイアンとのび太が決 めたルールを外部の人間は変 えることはできないことを説 明する。
--------------------	---	--

	○一人の人間がルールを決めてしまうとどのようなメリットとデメリットがあるかを考え、誰がルールを決めるべきかを考える。1組のルールを学級委員長が決めてしまうことの弊害について。 ○1組のルールを2組のみんなが決めるはどうなのか考える。 ○自分たちのルールは自分たちみんなで話し合っ て決めることが大切であることを伝える。 ◎民主主義について学ぶ ○選挙で国民が選ぶのは「代表者」であり、代表者同士が話し合っ て日本の法律が作られていく。皆さんが選ぶ代表者が法律を作るとい うことは、皆さんの意思が法律に表れるということであり、自分たち の法律を自分たちが話し合っ て決めている。 ◎良いルールの中身について考える。 みんなが納得するルールが良いルールであるこ と、みんなが納得するために公正なルールである必 要があること、納得するために議論する必要がある ことを伝える。 ○今回の議論する内容についての説明。 班活動における体育館利用のルールを決める。 班ごとに要望があること、スペースや時間に限り がある中で、どのようなルールを作るべきかを考 える。	⇒一人で決めるからすぐルール が決められる一方で、みんな の利害を考えないでルールが 作られてしまう。 ⇒自分たちのルールなのに関係 ない人が決めるのはおかし い。 ルールと法の関係性について 意識させる。 法の成り立ちについて説明す る。 展開2で行う検討について、 各班が納得する公正なルール を考えることを意識させる。
展開2 15分	○資料および各班からの要望について再度説明し、 班ごとの議論をする。 資料1は各クラブ活動が必要とする場所を示すもの 資料2はワークシートであり各自が書き込むもの 資料3は各班からの要望であることを説明する。	できれば事前に資料を読んで もらい時間短縮をしたいが、再 度資料を確認する時間を設ける ことで議論に入りやすくする。
発表 5分		
まとめ 10分	◎社会には「法」というルールがあることと、「法」 の必要性を確認する。 ◎法の考え方について、個人の尊厳や自由・平等・ 公平などの基本的な価値や概念を背景に、その基本 的な価値や概念を実現し、また害しないように配慮 しながら定められるべきものとされることを学ぶ。 ◎法の役割・機能について確認する。 ◎法が社会の変化と共に改正・廃止されるものであ り、ルールは必要であるが、ルールを変える必要が ある場合があることを学ぶ。	今回検討したルールが社会に おいては「法」であることを再 び意識させ、「法」はどのよう な考えを元に作られていくか、 どのような役割があるのかを再 度確認する。 違憲判決などを元に、社会の 変化によって法は改正・廃止 されるものであることを理解す る。

資料1 体育館見取り図



資料2 ワークシート



資料3 各班からの要望

● ドッジボール班 20人

ドッジボールの試合をやるときは体育館の半分くらいの面積を使いたいけど、体育館の4分の1くらいの面積でも10人くらいは練習できます。

ただ20人いるのでみんながひまにならないように人数を考えてほしいです。

基本的には片方のチームが全員退場になるまで試合は続くけども、時間で区切って試合をすることもできます。

体育館全体をみんなで仲良く使いたいからドッジボール班だけで占領とかはしたくないですね。

● バスケットボール班 8人

ゴールがないとバスケが楽しくないから最低でも4分の1の場所はずっと使わせてほしい。

バスケは時間で区切るスポーツなので、時間が区切られればその時間内にゲームを終わらせることはできる。

バスケ班はこれまでずっと体育館の半分を使ってきたし、急に面積を減らされても困る。

私たち8人は、昔からずっと一緒のバスケチームでやってきていて全国大会にも出場している。全国大会に出場すれば、私たちの小学校も有名になるし学校にとってもいいことだと思う。

もっと練習させてほしい。

● 卓球班 19人

あまり広い場所は希望していないけど、ひまな人が多くなるのはちょっとかわいそうです。

卓球台は最高で4人まで試合ができます。なので、全員で試合をするには卓球台が5台必要です。

11点をどちらが先取るかを競うスポーツなので、できれば最後までやらせてほしいし、人数も多いのでトーナメント戦とかもやりたいので長く使わせてほしいです。

● バドミントン班 15人

試合をするには最低でも体育館の8分の1は場所が必要です。8分の1あって初めてバドミントンコートが一つ作れますが一つのコートでは4人しか試合できませんので、全員が一度に試合をするには、体育館の半分の場所が必要です。

バドミントンは21点をどちらが先取るかを競うスポーツなので、点が入るまで最後までやらせてほしい。

バドミントンは、あまり上手じゃない子も多いので、試合だけではなく、基礎練習も必要だと思っています。基礎練習は体育館のすみの方でできるので場所はいりません。